

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R7年3月1日

事業所名: コミュニティーキッズのの

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	6			スペースが狭いと感じる時は他の部屋も使用しています。	13	2		庭があって外でも活動できるので良いと思います。	限られた空間の中でスペースを確保できるよう改善していきます
	2 職員の適切な配置	6			利用人数を把握して職員が不足しないよう対応しています。	14		1		急なお休み等で職員が不足しないように対応していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	6			スケジュールカード等を適宜使用し、見通しをもって過ごせるようにしています。	14		1	本人が分かりやすい環境になっていると思います。	児童の状態に合わせた環境調整を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	6			利用後の清掃・消毒を行い環境を整えています。	14		1		気持ちよく利用していただく為に引き続き清掃・消毒を徹底し、生活空間の確保に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	4	2		短時間でも話し合いが出来る時間を日々作ることが課題。					目標に対しての振り返りを行い業務改善へ繋げていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	2		第三者による外部評価は行っていません。					今後検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6			外部研修やオンライン研修に参加しています。					どの職員も偏りなく参加できるようにしていきます。
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	6			HPにて公表しています。	15				
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6			聞き取りをしっかりと行い計画を立てている。	15			子どもの状況に合わせた支援を受けれていると感じる。	今後も継続して個別計画を立てていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	6			項目ごとに支援内容は記載しているが、情報共有の頻度を増やす必要があると感じる。	13		2	してもらっている為、本人は生きやすくなっていると思います。	利用児童の成長に合わせて支援内容を変更していきます。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	6			利用児童に合わせた活動内容を提供できるよう計画を立てています。					
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	6			職員間で計画の共有が出来ているか確認しながら支援を実施しています。	14		1	行われていると思います。	活動内容を保護者の方へ分かりやすく伝える伝えていきます。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	5	1		午前・午後の出勤に分かれている職員もプログラム立案出来るよう、話し合う場が必要。					常勤者だけでなく非常勤の職員が話し合いに参加できるよう場を設けます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6			週ごとに小集団の活動を変更したり、日々個別課題も組み替えながら固定化しないようにしています。	14		1	ヨガやリトミック、ドリルなどいろいろな取り組みをしてくださっています。	今後も利用児童が楽しく取り組める活動を取り入れていきます。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3	1	2	平日の短時間みの為休日に応じた支援は行っておりません。					出来るだけニーズにこたえられるよう支援を行っていきます。
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	6			当日の利用児童の確認や送迎業務の確認など職員間で共有しています。					
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	6			毎日行えるようにすることが課題です。					短時間でも毎日話し合う時間を作り、より良い支援へ繋げていきます。
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	6			日々記録し、その内容を見返すことで支援の検証・改善を実施しています。					
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6			定期的モニタリングを行い計画を見直しています。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6			児童発達支援管理責任者だけでなく、時には現場リーダーが相談支援事業所との話し合いに参加しています。							
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				対象児童無し。							
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				対象児童無し。							
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	6			在籍している園へ出向いて、園での様子や事業所での様子など情報共有を行っています。							
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6			支援内容等の情報提供を行っています。							
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	1	1	研修を受ける職員に偏りが出ないようにしていくことが課題です。						職員皆が平等に研修を受ける機会が持てるようにしていきます。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供				6 短時間のサービス提供の為交流は行っていません。	12				3	園から事業所へ、事業所から園へ行っているため園での活動にも参加出来ています。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営				6 短時間のサービス提供の為交流は行っていません。							
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	6			契約時に利用者へ説明を行っています。	15						
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6			一項目ずつ説明を行っています。	15					丁寧に説明をしてもらっています。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	5	1		ペアレントトレーニングの取り組みは行っていないが、相談があったときに対応方法をお伝えしています。	11	1			3	相談時に助言をいただき今色々対応しています。	保護者の意向を確認しながら今後検討していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6			日々の様子を連絡帳や送迎時にお伝えしたり、保護者からも情報を聞き共有できています。	15					毎回出来事を連絡帳で細かく教えてくれるので様子がよく分かります。お迎えに行ったときにその日の様子を話してくれるので良く分かって良いです。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6			相談希望があれば随時対面面談やLINE、電話で対応しています。	14	1				いつでもLINEで対応してもらっているため助かっています。	気軽に相談できる雰囲気づくりに努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		3	3	現在、父母の会はありません。	6	1	2		6	父母の会や保護社会等があるのか分かりません。	今後、保護者のニーズに合わせて検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	5	1		苦情があった際に迅速に対応できるように職員間で情報共有を行います。	9	1			5	苦情があったことがない為分かりません。	苦情があった際には迅速に対応し改善していきます。苦情の有無をHP等で公表していきます。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6			個々に合わせた伝え方を行っています。	15					配慮してくれています。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6			会報はありませんが、SNSやLINEで活動している様子の発信を行っています。	12				3	発信してもらえています。	SNSの更新頻度を増やしていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	6			個人情報取扱規程に基づき対応しています。	15						
1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6			契約時に説明を行っています。	12				3		職員間でも再度周知徹底を行います。また保護者の方へも定期的にお知らせしていきます。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	2	6			年に数回、避難訓練を実施しています。	10	1		4	訓練しているのか分からない。	大規模災害や自然災害を想定し訓練していきます。訓練を行ったら保護者の方へお知らせします。
	3	4	2		服薬や持病の事など再度確認します。	15					書面だけではなく聞き取りの時に口頭でも確認するようにします。
	4		2	4	食事提供は行っておりません。						
	5	6			日々点検を行い安全管理をしています。	12	1		2		
	6	6			家族等への周知徹底を行います。	13	2				安全計画を見直し、取り組み内容について保護者の方へお知らせします。
	7	6			その都度、事例を振り返りながら再発防止に努めています。						今後も職員間で事例検討を行い、再発防止に努めます。
	8	6			年2回以上の虐待防止研修を行っています。						
	9	2	2	2	現在、対象児童はいません。						対象児童を受け入れる時には十分に話し合いを行い、計画書に記載し、説明いたします。